



外国語教育の充実を図る!!!

西部教育局からのお役立ち情報
(2020年3月号)

～小中連携を見据えて、小学校・中学校ともに大切にしたい指導のポイント vol.2～

文部科学省 山田誠志調査官招聘 境港市立第二中学校 公開授業・授業研究会、講演会(1/16)

《Small Talk 指導上の留意点》

生徒に**使わせたい言語材料**を使って、
英語担当とALTが**生徒を巻き込みながら**モデルとして示し、
取り組ませながら力を付ける(活動→必要な指導→活動)



- 生徒に使用させたい言語材料を明確にしていますか？
- 生徒が活動のイメージをもてるモデルになっていますか？
- 生徒は「黙って聞く人」(英語担当とALTだけのやり取り)になっていませんか？
- 活動させつつ放しで終わらず、活動後に指導をしていますか？

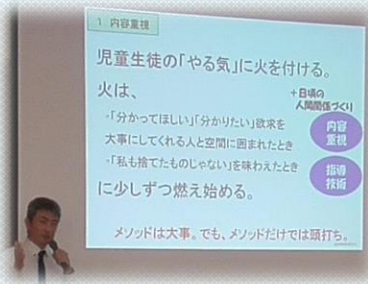
【授業より】“I ate fish and rice.”と話した友達に
“What fish?”と何とか英語で問い返せた生徒。活
動後の指導場面で既習の“What kind of ~?”と
いう表現を教えてもらい、「あ、kind か」と納得！

R2年度(移行期間2年目)の授業づくりで重視したいこと

「内容」重視

教師自身が・・・

- ◆「生徒の発話(思い)を受け止める」という姿勢をもち、内容を重視することを貫く
- ◆コミュニケーションの手段として英語を使う



小学校でも重要なポイント!

山田調査官講演会より

「言語活動」重視

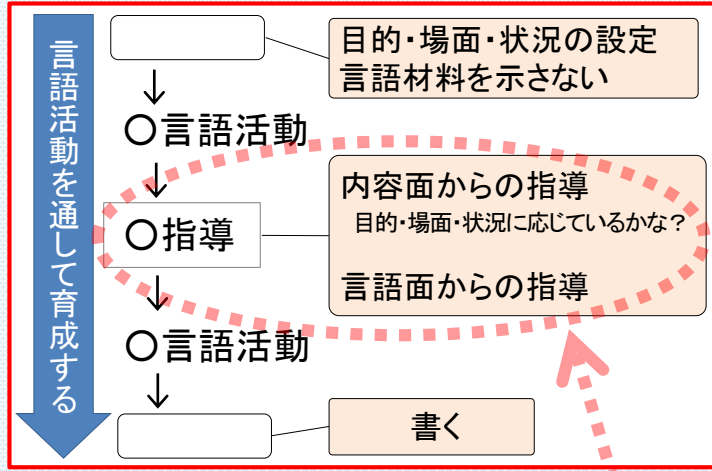
- ◆「言語活動」は生徒の思考・判断が伴うもの
→思考・判断する対象は「内容」と「英語」



山田調査官講演会資料より

「やりとり」重視

- ◆互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を重視
→まずは教師が自分の考え・気持ちを伝え子供とやり取りをする
- ◆授業は英語で行うことを基本とする
→授業を実際のコミュニケーションの場面に
- ◆「話すこと[やり取り]」を新設
→やり取りは、コミュニケーションにおける中枢的役割を果たしているとされている



活動中の生徒の発言を取り上げて指導するためには、指導することを絞る(例:内容面のみチェックする等)、意図的な中間指導が不可欠です。

重要! 「知らなかった」ではすまない...文部科学省HPで、今すぐ確認!

- ① 移行期間における指導資料(小中接続・帯活動)
*R1年度の1年生、R2年度の1・2年生が対象
- ② 新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge
*R2年度の1・2年生が対象

